

教科	科 目	単位数	学年・クラス
共創	未咲輝学Ⅲ	1	3年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン
出版社	英治出版
副教材等	－
出版社	－

2 学習の目標

1	地域課題を発見し解決するという活動を通して、判断力やコミュニケーション力などを高める。
2	地域や自分のふるさとへの理解を深める。
3	持続可能なまちづくりのリーダーに必要な知識や資質について学ぶ。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	学習した内容を理解し、課題の解決やより良い集団作りのために自分にできることを考え、実践できている。
② 思考・判断・表現	必要な情報を適切に収集・分析することで、自分の考えをまとめた上で表現することができるとともに、他者と協働しながら探究活動を行うことができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習内容を自分ごととして捉え、探究活動に意欲的に取り組むことができている。

観点 評価方法	①	②	③	備考
授業への取組	B	A	A	授業態度など
提出物・作品	C	A	A	指示した時期に提出
発表・プレゼン	A	A	C	内容ごとに実施

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	求められる地域人材とは 起業家育成 企業経営 起業家育成 販売実習	地域人材として求められる力とは、どのようなものかを考える機会とする。 自分が身に付けるべき力は、どのようなものであるかを考える機会とする。 企業経営や電子商取引などの企業活動について理解する。 経済の仕組みを理解し、自分の生活や地域社会に還元する方法を考える機会とする。 場面や状況に応じた臨機応変な対応ができる力を身に付ける。
2 学期	地域企業理解 地域企業研究 S D G s と教育	地域企業や地域の産業について理解する。 地域の多様な産業構造を知ること、自分の進路選択に役立てる機会とする。 必要な情報を収集し、その情報に基づいた上で自分の考えを適切に表現することのできる力を身に付ける。 聞き手を意識し、自分の考えを分かりやすく伝える力を身に付ける。 S D G s の観点から教育をとらえ、自らの学びを見つめる機会とする。
3 学期	学習のまとめ	自己評価や相互評価を適切に行い、自らを客観的に振り返る機会とする。 これまでの学習を通して、より良く地域に関わったり、自らの人生を切り開いていったりするきっかけとする。